

# 第20回東伏見スポーツサイエンス研究会

グローバルCOEプログラム「アクティブ・ライフを創出するスポーツ科学」

日時 2013年7月19日(金) 18:15より

場所 早稲田大学79号館(STEP22)302号室

## 演題 エンドースメントの視点から見たアスリートの姿について

備前 嘉文 先生  
(天理大学)

スポーツにおけるスポンサーシップの形態は多様化しており、その対象はクラブやチーム、スポーツイベントなどの組織のみならず、選手個人(以下、アスリート)との契約など多岐にわたる。特に、オリンピックや国際大会で優秀な成績を収めたアスリートには世間の注目が集まることから、企業はその注目度に着目し、自社のテレビコマーシャル等に話題のアスリートを起用することはよく見られる。アスリートと結ばれるスポンサーシップの契約形態を、特に「エンドースメント(endorsement)契約」と呼ぶ。企業とエンドースメント契約を結ぶことにより、アスリート側にも「知名度の向上によるファンの獲得や競技の普及」、「活動資金の捻出」といった多くのメリットが期待できる。しかし、一方で、アスリートのテレビ番組やCM等への出演に対しては、「スポーツ選手のタレント化」という言葉に代表されるように、インターネット上を中心に多数の批判的な意見が見られるのも事実である。それらの状況をふまえ今回の研究会では、アスリートによるエンドースメントという視点を通して、「人々のアスリートに対する認識」や「人々をひきつけるアスリートの魅力」、そして「アスリートが世の中から期待される役割」等についてこれまでの研究結果をもとに、研究の方法論も含めて検討していきたい



早稲田大学 スポーツ科学学術院  
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・紙上敬太  
早稲田大学 スポーツ科学学術院  
E-mail: masaki@waseda.jp